

「高千穂郷」通信

祖母・傾・大崩ユネスコ エコパークの魅力を発信！



12月11日(月)に、ホテル椿山荘東京にて「地域の魅力発信セミナー」が行われました。駐日外交団や外国商工会議所、航空会社、関係省庁に向けて地域の魅力をアピールするためのイベントで、50を超える国の関係者が集まりました。

第1部では、県の担当者が「祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク」の自然や文化の特色についてプレゼンテーションを行いました。第2部では交流会が開かれ、エコパークエリア物産物の試飲食ブース、高千穂神楽の演舞及び観光PRが行われ、各国の大使に西臼杵地域の魅力を実感してもらう有意義な時間となりました。



△高千穂神楽の紹介



△かっぽ酒はおかわりを求められるなど好評を博しました！



五ヶ瀬ハイランドスキー場がオープン



12月15日(金)に、五ヶ瀬ハイランドスキー場にて2018シーズンのオープニングイベントが開催されました。

当日は、宮崎県の鎌原副知事や五ヶ瀬町の原田町長などが集まり、テープカットが行われ今シーズンの開幕を祝いました。

今シーズンから、ムービングベルトを備えた待望の初心者コースが新設され、早く上達するための環境が整備されました！オープンの日には、鎌原副知事もグレンデを試走されました。

2018シーズンは3月4日(日)までの営業予定です。ぜひ、スキー場に揃っておいで下さい♪



新設のムービングベルトも活躍！



西臼杵地域農林技術連絡協議会研修会を開催

12月4日（月）に、ゆめゆめプラザTACにて西臼杵地域農林技術連絡協議会の研修会及び体系的農家研修が開催されました。

今回は、農林業の生産現場における衛生管理対策として、GAP（農業生産工程管理）について研修しました。JGAPアドバンス上級審査員の橋本省三先生から、取り組むべき衛生管理や作業従事者の安全対策等について、不衛生な現場の実情や危険箇所の具体例を交えてご指導いただきました。

また、西臼杵農業改良普及センターの中村技師が、今年度からスタートした宮崎県版「ひなたGAP」の概要について説明しました。生産者の皆さんに、GAPの必要性を理解していただきました。



△GAPについて学ぶ研修会



西臼杵地区SAP冬期大会が開催

12月5日（火）に、西臼杵支庁において「平成29年度西臼杵地区SAP冬期大会」が開催されました。

地域の活動事例や、今後の目標や夢について発表する「意見発表」の部に2名、課題解決の取組成果を発表する「プロジェクト発表」の部に各町からの代表が3名発表しました。

最優秀賞は、意見発表の部が「私の農業経営と将来について」発表した日之影町SAP会議の甲斐達也さん、プロジェクト発表の部が「こんにやくプロジェクト」を発表した津隈雅士さんがそれぞれ受賞をされました！

受賞された甲斐さんと津隈さんは、県SAP冬期大会で発表をされる予定です。県大会での好成績を期待しています。



△出席したSAP会員のみなさん



障がい者に配慮した避難所運営訓練が行われました

12月10日（日）に、岩戸五ヶ村公民館で障がい者に配慮した災害時の避難所運営訓練が行われました。

西臼杵地域障がい者自立支援協議会と五ヶ村公民館の主催で開催され、障がい福祉事業所あまてらすに通う障がい者の方々や地域住民、NPO法人県防災士ネットワーク西臼杵支部の防災士のほか、行政の職員など計105人が参加しました。

訓練では避難者の避難所受け入れや炊き出し、防災士の指導による段ボールを使用した間仕切り製作などが行われました。また、日本オストミー協会宮崎県支部よりオストメイトトイレの説明、内部障がいの理解を求める講話がありました。地域の方々には避難所での障がい者への配慮の重要性を学びました。

参加された方々からは「障がいのある方との区別が分からない場合もありお互いの声かけが大切」といった意見や「いざというときのために障がい者の方たちと避難所体験ができてよかった」との声がありました。



△間仕切り製作を行う様子



高千穂郷の手仕事を探すシリーズ【第2回】



今回の手仕事シリーズは漂泊の民・木地師です。「ろくろ」と呼ばれる道具を使って椀や盆、大皿などを作っていた木工職人で、かつては全国各地にいました。現代でも残る北陸の漆塗りや東北のこけしなどの伝統工芸は、木地師にルーツがあります。

第2回では、西臼杵郡でも、五ヶ瀬町三ヶ所や鞍岡、高千穂町五ヶ所などで活動していた木地師について紹介をします。

五ヶ瀬町の木地師

五ヶ瀬ハイランドスキー場に行く途中の道沿いに小さな社があります。ここには木地師が信仰したと考えられている男女二体の神像と二体の狛犬像が祀られています。地元の話によれば、元々近くの山中の険しい崖の中にあつたものを地域の方々が移転したものだといひます。

民間信仰では、手に斧を持つ男の神像は、山師や炭焼きを職とする人々の信仰する神様で、丸い石の球を持つ女の神像は猟師の信仰する神様です。この夫婦の山の神は民俗学では木地師が信仰していたと考えられています。全国的に山の神は自然の石や巨木、単体の神像などの形で祀ってあることが多いようですが、この男女二体の神像と二体の動物像を山の神として祀っているものは珍しいそうです。

五ヶ瀬町波帰地区周辺にはキジヤ、キジゴヤ、キジフジヤシキ、キゴウヤなど木地師に由来する地名が多くあります。また、キジヤの山中には「木地屋・小椋禮治郎」と記した夫婦の墓石があります。記録にもこの周辺一帯は木地師が活躍した地域であることが記されています。



- ① 波帰地区
- ② 木地師の夫婦墓
- ③ 男女神像がある社
- ④ キジヤ (地名)
- ⑤ キゴウヤ (地名)
- ⑥ キジフジヤシキ (地名)
- ⑦ 坂狩地区
- ⑧ 長迫地区
- ⑨ 内の口地区
- ⑩ 一ノ瀬地区



★木地師はクリ、ケヤキなどの木で樹齢が二～三百年、直径が1 mほどの大木を使用しました。木地師が活動できるということは、山林に樹種が豊富で、大木が多く存在したことを表しています！



△スキー場のふもとに移転された神社

9世紀	伝承によれば惟高親王がろくろの技術を考案。小椋の庄の人々に伝え、全国に点在。
近世	全国各地の木地師は氏子狩制度により商売の許可や樹木伐採などの特権が保障される。
1727~1882年	日向国（宮崎県）でも氏子狩が全部で7回実施される
明治初年	小椋家が日之影町の追川から五ヶ瀬町内の口地区に移住
1980年	木地師の技術伝承者である小椋シモさんの協力を得て、木地の製作工程が復元される

全国茶品評会の祝賀会を開催！

長崎県で開催された「第71回全国茶品評会」の釜炒り茶の部に、西臼杵地区から30点出品し、うち13点が入賞しました。

1等1席の興梶瞳氏は農林水産大臣賞、1等2席の興梶緑氏、1等3席の興梶洋一氏、1等4席の興梶茂子氏、1等5席の宮崎恵美子氏（宮崎茶房）がそれぞれ特別賞を受賞し、西臼杵地区が特別賞を独占しました。また、成績優秀な産地に送られる産地賞では、五ヶ瀬町が1位、高千穂町が2位と産地としても輝かしい成績を収めました。

11月11日（土）には、長崎県で表彰式が行われ、同月20日（月）には、ゆめゆめプラザTACで祝賀会が開催されました。釜炒り茶部門では、西臼杵地区が4年連続で農林水産大臣賞を受賞し、日本一の釜炒り茶産地としての知名度も更に高まりました。受賞された皆様、おめでとうございます。



△全国お茶まつり（表彰式）



△受賞者の挨拶



世界農業遺産ユネスコエコパーク合同シンポジウム

12月16日（土）に、高千穂町の主催により、高千穂町自然休養村管理センターにて「世界農業遺産 祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク」の合同シンポジウムが開催されました。

既に登録を受けている綾町の河野講師からは、先進地域の取組事例や、観光分野との連携等の重要性について講話があり、宮崎大学の竹下講師からは、山腹水路の魅力等について話がありました。

また、高千穂山の会の活動報告や、高千穂高校生によるG I A H Sアカデミーの活動内容についてもプレゼンテーションがあり、地域住民のみなさんがシンポジウムに出席することで、町全体での活用方法について学び、考える機会となりました。



△高千穂高校生によるプレゼン



壁新聞コンクールの受賞作品が決定！

みやざきの食と農を考える県民会議西臼杵支部では、毎年管内の小学生を対象に「食と農」壁新聞コンクールを開催しており、今年度は12月1日（金）に審査会を行いました。

今年は例年よりも応募総数が増えて、延べ119名から33点の応募があり、甲乙つけがたい内容の審査となりました。

審査の結果、金、銀、銅賞それぞれ1点と特別賞が6点の計9点の受賞作品が決定しました。平成30年1月13日（土）の表彰式（会場：ゆめゆめプラザTAC）にて全作品の展示もあわせて行います。ぜひ会場までご来場ください。



△壁新聞コンクール審査会の様子



ごかせジビエ普及拡大試食会が行われました

12月3日（日）に、五ヶ瀬町内で西臼杵森林組合と五ヶ瀬町の主催により、五ヶ瀬中等教育学校と五ヶ瀬中学校の生徒を招き「シカ・カップ」試食会を開催しました。

「シカ・カップ」は、シカ肉と調味料などを竹に詰めて、竹ごと炭火で焼き上げる猟師料理で、当日は中等教育学校の4～6年生が、鞍岡地区猟友会の方に教えていただきながら実際に仕込みを行いました。

また、試食前には中等教育学校の生徒が取り組んでいるジビエの研究結果も発表され、アンケート結果などをもとに、課題や普及に向けた取組などが上手にまとめられていました。

試食した生徒のみなさんからは「美味しい」「思ったより肉が柔らかい」などの高評価を得ました。今後のジビエの消費者への普及促進が期待される会となりました。



△興味深々ジビエの調理を見学しました！

◎お問い合わせ先

宮崎県 西臼杵支庁 総務課 TEL 0982(72)2181 FAX 0982(72)3760

Facebookページ  「ウキウキ！好き好き！ニシウスキ！」更新中！

